



平成27年度「篠ノ井西中学校 学校通信」



布施だより

発行日 平成27年5月20日

第5号(181号) 校内版

長野市立篠ノ井西中学校

電話(026)292-0244

FAX(026)292-7880

担当:教頭 中山

《 団結するとき ～ 体育集会を通じて ～ 》



焼けるような日差しの中、12日(月)に「体育集会」が行われました。全校生徒が『西中体操』で体をほぐした後、『学級対抗リレーと大縄跳び』に挑戦しました。砂埃が舞い上がるグラウンドに大きな歓声とガッツポーズとハイタッチが交換されていました。

4月のスタートから学級作り・仲間作りが行われているこの時期だからこそ、この「体育集会」に意義があります。生徒たちはこの集会に向けて、体育の追究の時間に、学級活動や放課後の時間に、気持ちを揃えて団結することの大切さを学んでいきます。どうすればより上手にバトントスができるんだろう、回数を増やすにはどんな跳び方をすればいいんだろう・・・上手いかないもどかしさやいらだちを時に表現しながらの、この「体育集会」に向けての追究でした。

○私は声を出すのや発言するのがかなり苦手ですが、今まではそういう人たちに囲まれていたので、そんな自分のままでした。この前の体育の授業でも、誰が縄を回すのか男子がもめていてしばらく練習ができなかったんですが、そのとき私は男子の間で起こったことだとか、男子と話したことないとか、その状況が周りのみんなも嫌そうだけど誰も何も言わないとか、色々理由をつけて何も言えませんでした。それまでで、一番の記録を出したときも、時々何人か抜けたりとかして、本当の記録とは言えません。その時も私は何も言えなかったんです。これから、少しでも自分の考えを言えるようになりたいです。

○1時間目の体育でした。リレーと大縄跳びをやりました。大縄は本当にきついです。20回を続けるだけでもきついです。でも回数が多いとやっぱりうれしいです。朝の学活の時間に、212回跳んだクラスの様子をDVDで見せていただいたけど、このクラスとは違うな!と思いました。まだまだ声が出ていません。とは言っても、私も大縄はつらすぎて、声を出していないときもあります。みんな辛いのは同じなので頑張りたいです。

気持ちを揃えて団結するためには、どうしたらいいのか。仲間の得意・不得意を理解し合い、尊重し合うにはどうしたらいいのか。その答えが毎日の日常生活にあることに生徒たちは少なからず気づいています。毎日の学習に背筋を伸ばして向き合うこと、仲間の発言や考えにきちんと耳を傾けること、清掃の15分間ひとりになりきって床と向き合うこと、給食の準備を公平に行えること。響き合う合唱に心寄せること・・・そんな毎日の当たり前の積み重ねこそが団結するために必要なんだ、と感じ始めたかけがえのない時間でした。

集会を終えての生活記録です。

○体育集会がありました。特にリレーは学年ベスト3に入れなかったけれど、(予選で)〇〇君が競り合って1位でゴールしたあの瞬間はまだ心に残っています。バトンは練習通りに渡せし、みんなの手の汗で必死さが伝わってきて、「私もわずか50秒だけど、頑張らなきゃ」と思って走れました。差が開いても助け合って、追いつけるところが何度かありました。ベスト3も大切だけれど、よりクラスの友だちを思う気持ちが育ったなぁと思いました。本当にいいレースでした。



集会を終えて、追究を通じて、生徒諸君はもっと仲間と関わりたい、もっと助け合いたい、もっと相手のことを理解したい・・・そしてそのために何をしていったらいいのか・・・この経験と触れあいから得たことを、ずっと大切に考え続けてこれからの生活に活かそうとしてくれる生徒たちがいます。

《 秩序と節度ある学校生活 ～破損や紛失のない集団に～ 》

今年の学校グランドデザインの重点のひとつに『生徒理解に基づくチーム支援の充実と生徒指導の組織的な対応』を位置づけています。その中に〈公共心を育てる生徒指導〉を考え、秩序と節度ある学習環境の整備と充実を願っています。秩序ある学習環境と人的環境のクオリティの高さが、学ぶ意欲や学力につながることは言うまでもありません。誰もが安心して過ごせる環境を、そこに過ごしている大人も子ども一緒に創り上げていきたい。そんな考えをもっています。

ところが毎日の生活の中で、少なからずの破損や私物の紛失があることも篠西中の現実の姿です。生徒昇降口に置いたはずのシューズが帰るときに見えなくなっている、図書館からなくなる紛失本がある、トイレの壁紙が剥がされる、自転車が紛失し、違う場所から発見される、等です。紛失や破損がある毎に、生徒諸君に事実を伝え共に考えてきています。またご家庭の皆様にも事実をお伝えしながら、ご心配をいただいているところです。

さて、みんなが使う場所を「公共の場」と言います。(これは以前にもお話したことです。)みんなが使う場所だからこそ、みんなが気持ちよく使えるよう心を配る、これが「公共のマナー」を守ることに通じます。「公共心」を育てることにもつながります。そんな〈公共心が染み渡る〉学校を生徒の皆さんと創りたいと願っています。自分たちで心を込めて〈秩序ある地道な毎日の生活・当たり前のことを当たり前やり通す〉、そして〈持てる力



を精一杯発揮し、仲間と磨き合う学校作り)を目指しましょう。皆さんの協力なしでは破損や紛失のない学校は成り立ちません。ひとりじゃできないことをみんなでやり通すのが学校という学ぶ場です。生徒の皆さんと一緒に考えていこうと強く願っています。

《 躍動するとき ～ 最後に向けて ～ 》

5月7日(木)には部活動発足式があり、代表の生徒が本格的な活動に向かう決意を伝えてくれました。

私は兄の影響で剣道を始めました。兄を目標とし、日々稽古を積んできました。今まで目標としてきた兄に追いつくためにしていきたいことがふたつあります。ひとつめは最後までやり遂げることです。私は何か辛いことがあると投げ出してしまうことがあるので直していきたいです。ふたつめは自信をつけることです。最初からダメだと決めつけてしまうことがあるので、日々の稽古に精進し、自信をつけていきたいです。このふたつを目標に市中大会で悔いのない試合をしたいです。

(剣道部 高橋舞 さん)

最後の大会に向けてやりたいことがふたつあります。ひとつめは練習についてです。練習を積み重ねなければ当然負けるし、練習を積んでいけば勝てない試合にも勝てるようになるかも知れません。だから悔いのない試合をするために、悔いのない練習をしたいです。ふたつめは、体調管理です。柔道は怪我をしやすいスポーツです。怪我をしてしまうと練習を積めず、大会にも出られなくなってしまいます。ですから僕は怪我をしないよう注意して練習をします。大会までにたくさんの練習を積み、体調を万全にして、万全の態勢で臨みたいです。

(柔道部 松原夏樹 さん)

毎日の部活動の中で、殊に3年生諸君は最後の大会、最後のコンクール、最後の発表会、最後の制作に向けて、精一杯の努力を重ねています。そしてこの時期の10日間、20日間の伸びには目を見張るものがあります。これまで何千回、何万回と繰り返してきた追究で身につけた技術やスキルが、この時を待っていたとばかりにグン、グンと文字通り音が聞こえるかのように伸びていきます。それと同様に、しなやかで逞しい心根を伸ばしてくれてもいます。自信であるとか、信頼であるとか、反骨心であるとか、謙虚さであるとか、感謝であるとか、勇気であるとか……。だから、そんな姿に触れていると、若者諸君の踏ん張り活躍を、そして成長と変化を全身で目一杯応援したくなります。

<5/16 市中大会にて>



<5/17 篠ノ井大獅子奉納にて>



～

～

《 夏の収穫 》

～

～

〈ソフトボール部〉

第 25 回長野県中学生春季ソフトボール大会

優勝



《 長野上水内教育会からのお知らせ 》

長野上水内教育会より「長野上水内教育会総集会における一般公開」のお知らせがきています。ご多用の中ですが、ご都合のつく皆様のご参加をお待ちしております。

長野上水内教育会の事業につきましては、日頃よりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、長野上水内教育会は、保護者の皆様、地域の皆様に開かれた教育会を目指し努力してまいりました。この度の総集会開催にあたりましても、下記のプログラムを公開いたします。私も教員の研修内容の一端をご理解いただくとともに保護者の皆様、地域の皆様と同じ場で共に学ぶことができれば幸いです。

1 日時、プログラム

平成 27 年 5 月 23 日(土) 若里市民文化ホール

*会員発表 9:33～9:53

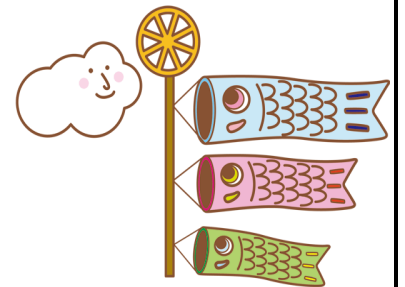
テーマ 「地域の方々と関わりながら、子どもたちの自己肯定感を高め、お互いの良さを認め合える学級作りのあり方」

発表者 長野市立篠ノ井東小学校 石井将之 教諭

*講演 10:04～11:34

演題 「ともに生きる知恵 ～明日をつくる通訳（関わり方）の力～」

講師 臨床心理士・NPO 法人 ジョブネットワーク
ベル相談室 角田みすゞ 先生



2 駐車場

駐車はカネボウ跡地へお願いいたします。